

保 育 目 標



1. 元気のよい子ども

柿生保育園には子どもたちが思いきり身体を動かしたり、走り回れるスペースがあります。また五感を刺激することのできる仕掛けが(砂場や草花農産物など)たくさんあります。その環境を年齢に応じた活動の中にとりいれながら日々生活そのものを楽しんでいかれるような子どもに育てていきます

2. 心の豊かな子ども

まだ言葉では自分の気持ちをうまく表現できない乳児クラスは「泣くと気づいてもらえる・寄り添ってもらえる」という実感が得られるよう保育者がていねいに応答していきます。幼児クラスでは「またやってみよう」と思う手ごたえが感じられるようにしていきます。自分の思いを出してもいいんだという経験、時には思い通りにいかないことがあっても保育者や、一緒に生活している友だちとのかかわりの中で一緒に解決する方法をやりとりの中から学んでいくなど「こころ」も育てていきます

3. やる気のある子ども

一人ひとりの世界を理解しその世界に入って一緒に遊んだり気持ちを理解することで子どもたちの心は満たされ表現力が育っていきます。乳児期から安心できる人間関係の中で育ってきた子どもたちは、幼児期になり表現力の他にも協調性、競争意識、主体性が育ってきます。これらはバランスがとれて初めてそれぞれの物が生きてくるもので、どれかだけが突出してというものではありません。集団生活を経験する中で子どもたちのその後の生活や学びにつなげていきたいと思えます。



乳幼児期は、多様な活動を生活や遊びの中で経験することがたいせつです。それらの体験が積み重なっていく中で、感性や好奇心、探究心や思考力などが培われていきます。

柿生保育園・柿生かきっこ保育園では好奇心や探究心の旺盛な乳幼児期に、子どもが自然など身近な環境に関わり、身体感覚を十分に働かせられるよう保育をしまります。そして興味や関心を育て、思考力や認識力の基礎を身につけられるようにします。

地域の方にあたたかく見守られている保育園。職員も子どもも日々笑顔で過ごせるように、保護者の皆様と手を取り合ってまた新たな歴史の1ページを踏み出していきたいと思えます。

